

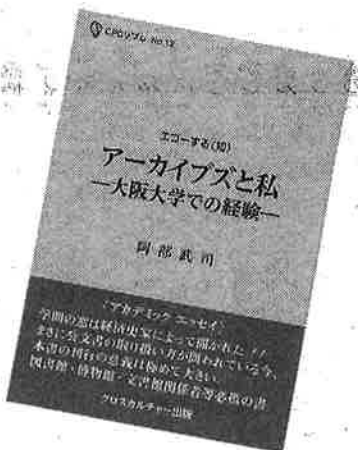
書評

▼阿部武司著『アーカイブズと私—大阪大学での経験—』2・29刊、A5判一八六頁・本体二〇〇〇円・クロスカルチャー出版

アーカイブズは思索するための宝庫

まず、自分たちで資料にあたり、考えていくことに尽きる

室沢 毅



著者は大阪大学に在職中、二〇〇四年から「大学のインフラ」といふべき図書館、博物館としてアーカイブズ(文書館)の学内運営に関わり、(略)アーカイブズの設立という重責を担いながら、二年一〇月、大阪大学アーカイブズの創設を実現させた。その間に執筆した論稿とその後に発表した講演録や論稿をまとめたのが本書である。ところで、アーカイブズは、通例、使用されるアーカイブの複数形であり、NHKなどでは、アーカイブズと称しているが、これは発音がしにくいという点で、敢えて「ズ」としている造語のようだ。また、図書館に関する職種を司ることはありえないことだ。それは、日本の公権力の

名称があるが、アーカイブズには、「アーキリスト」と称するだけで、訳語がない。著者は「アーキリストの仕事は、「資料や情報の提供」をすることであって、「予算や人事(ポストの数)」、「大学史や社史の執筆」をすることではない」と述べていく。それは、「アーカイブズは社史や大学史の編集委員に資料を提供することによって、それらの執筆を依頼すべき所ではない」という明確な捉え方を著者が持っているからだ。

ここ数年、安倍政権に関する疑惑で公文書の書き換えや廃棄といった不祥事が頻出し、直近の文書を廃棄することはありえないことだ。それは、日本の公権力の歴史的負の継承といえそう

「日本という国は、多くの諸外国とは逆に、歴史的資料の保存にはまことに消極的です。それは明治維新期も終戦時に実施された大量の文書の焼却処分にも現れておりますが、(略)情報公開法も企業や官庁では資料の廃棄を促進しているように見受けられます。こうしたことが進められますと、過去の歴史に対する客観的な評価が不可能になりますし、私たちが日々苦勞して積み上げてきた貴重な知恵も忘れ去られてしまい、将来に禍根を残すことは明白です。日本人は国際的にみて、過去のことは「水に流す」という文化の中で生きています。うである。しかし世界では、栄光に満ちたことであれ反省すべきことであれ、過去の出来事を絶えず思い出し、それらを現在そして未来に生かすことに務めている国が少なくないのである。欧米先進国のみならず中国や韓国などでも過去の記録を文書館にきちんと残しているものであり、そこに

料に基づいて歴史を記述することがしばしば伝統となっている。近年の教科書問題で、中国や韓国から寄せられた、戦前・戦中における日本の侵略行為に対する批判に日本政府が適切に対応できないのは、自国の過去に関する思索が日本人は希薄であるという重要な問題と関連している。」「多くの海外諸国では保存年限を過ぎた公文書は、日本のように簡単には廃棄されず、その多くが文書館に移されて選別・保存・公開されることは常識となっている。他方、日本では(略)都合の悪い文書を大量に廃棄することが不思議とも思われてこなかった。」「その通りだと思ふし、そうであるべきだともいいたい。このようにアーカイブズの重要性を的確に著者に述べてもらえば、補足することは何もない。確かに、わたし自身も図書館や博物館(あるいは民俗学的な資料館)の重要性は直ぐにでも述べられるが、公文書館のような施設については、あまり関心を抱かなかつたし、なにもその実態を知ら

だ。歴史的負の継承といえそう

「日本という国は、多くの諸外国とは逆に、歴史的資料の保存にはまことに消極的です。それは明治維新期も終戦時に実施された大量の文書の焼却処分にも現れておりますが、(略)情報公開法も企業や官庁では資料の廃棄を促進しているように見受けられます。こうしたことが進められますと、過去の歴史に対する客観的な評価が不可能になりますし、私たちが日々苦勞して積み上げてきた貴重な知恵も忘れ去られてしまい、将来に禍根を残すことは明白です。日本人は国際的にみて、過去のことは「水に流す」という文化の中で生きています。うである。しかし世界では、栄光に満ちたことであれ反省すべきことであれ、過去の出来事を絶えず思い出し、それらを現在そして未来に生かすことに務めている国が少なくないのである。欧米先進国のみならず中国や韓国などでも過去の記録を文書館にきちんと残しているものであり、そこに

「自国の過去に関する思索が日本人は希薄であるという重要な問題」と著者は指摘する。もう少し付け加えるとすれば、簡単に捏造、書き換えされたものを事実だとして認識させられてしまうということもある。それは、特に紙媒体に当たることなく、氾濫するNet情報に混乱しながらも、道筋を自らでつかめないまま、偽情報を真実として感受して行くということを意味する。

(社会批評)